「教材の学研」が、お子さまに「やってみたい!」と思って
もらえるような教材を豊富に用意しました。
ここにしかない、オリジナル教材ばかりです。



※開室時期によって使用教材は異なります。　※教材の色・デザインは変わることがあります。

学研幼児教室プレイルーム入会のご案内

教室要項

- 1回の指導時間:60分
- 定員:1クラス15名前後(開室は、1クラス最少6名より)
  ※1クラス15名前後(会員数が規定に満たない場合、開室できない場合もございます)
- 入会金:6,600円(税込み)
- 月会費:年中・年長　7,370円(税込み)
  ※教材費等含む

特典1
学研エデュケーショナル各教室の兄弟姉妹のかたは、当教室の入会金が免除されます。

特典2
小学生対象のスタディ算国コースが開設されている園にお通いでプレイルームを修了し、
その後スタディ算国コースに通われる際は、スタディ算国コースへの入会金は免除されます。

あそびがまなび 学研幼児教室 プレイルーム

●お問い合わせ　㈱学研エデュケーショナル
〒141-8411 東京都品川区西五反田2-11-8
フリーコール 0120-114-154 (受付)月～金9:00～17:00　祝休日を除く
https://playroom.gakken.jp 学研 プレイルーム で検索

スマートフォンは
こちらから

2025年10月改訂
9300010913

年中・年長コース

Gakken

あそびがまなび
学研幼児教室 プレイルーム



おうちのかた必見

お子さまの可能性を大きく広げるには?







©Gakken

可能性を広げる
「ひみつ」は次のページから!

人の話を聞ける子になるには？

人前でも堂々と発表できるようになるには？

Point1 幼児期に効果的な指導が必要

学研幼児教室プレイルームは、指導方法が違います。





幼児期は、体も心も知能も、一生のうちで一番育ちます。
中でも神経系が発達し、言葉の発達も著しい時期です。

1 小集団指導だから

学研幼児教室プレイルームは、小集団での学習方法を特長としています。お友だちと一緒だとがんばろうという意欲がわきます。その結果、一人ではできないようなこともできるようになります。幼児期に効果的な指導方法で、小学校の授業で輝くお子さまに育てませんか。



2 人の話を聞ける子に

学研幼児教室プレイルームは、集団の中で、指導員やお友だちの話（言葉や指示）、録音されたお話を聞く経験を積み重ねることを大切にしています。
先生のお話を聞き、理解して行動することは、学校での生活や学習の基本となります。



3 研修を受けた認定指導員が担当

遊びながら楽しく学べる!

学研幼児教室プレイルームの指導員は所定の研修を受講した幼児教室専門の指導員で、月に一度の研修などで研鑽を積み続けています。
お子さま一人一人が先生やお友だちと楽しく触れ合い、刺激し合いながら学習することで、「身につく」学力を育てます。さらに、集団行動の基礎やコミュニケーションの力も培うことができます。



4 自信をもって、発言できる子に

人前で発表する、小さな成功体験を積み重ねる……。伝える力は、時間をかけて培います。

小集団の中だから、自分の考えを表現する機会が多くあります。
学習が得意なお子さまは、表現できたことでますます意欲的になり、その学力にさらに磨きをかけていただけます。
ちょっと自信のないお子さまも、指導員がやさしく導きます。
自信満々で小学校生活に臨めるよう、お子さまの力を引き出していきます。



※開室時期によって使用教材、課題の内容は異なります。

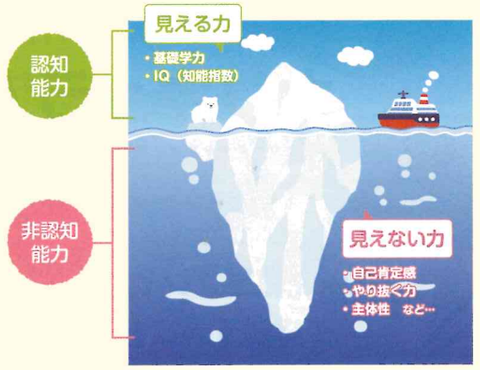
知っておきたい教育情報

これからの時代、子どもたちに望まれることは？



未来を生き抜く力“非認知能力”とは

先が予測できない激変の時代において、近年注目されてきたのが「非認知能力」です。「非認知能力」とは、例えば、自ら問題を解決していこうとする力、最後まであきらめずにやり抜く力など、数値化が難しい、見えない力のことです。子どもが自分で人生を切り開き、幸せに生きていくために必要な力とされています。対して、テストの点数やIQ（知能指数）など数値で測ることのできる力を「認知能力」と言います。どちらも育んでいきたい大切な力で、相互で影響し合い「生きる力」となります。「非認知能力」は特に10歳くらいまでの時期に伸びると言われています。この時期にさまざまな経験を積み重ね「非認知能力」を高めることで、その後の人生を生き抜く力の土台を作ることができます。



「非認知能力」10の力

～ 地図のない、激変の時代～ 身につけておきたい10の力

1. 自己肯定感
他人の評価を気にせず自分を大切にできる
- □ 自分・他者への見方がポジティブ
- □ 主体的に行動する

2. 自己効力感
失敗を怖がらずに挑戦することができる
- □ ミスをしても落ち込みすぎない
- □ できない理由より、どうすればできるかを考える

3. 自制心
先を見据えて感情と行動をコントロールできる
- □ 計画的に準備できる
- □ 朝寝坊、遅刻をしない

4. 柔軟性
自分と違う意見や変化に対応することができる
- □ 変化にスピーディに対応できる
- □ 一つの正解に固執しない

5. 共感力
相手の立場に立って思いやることができる
- □ 相手の話にじっくりと耳を傾けることができる
- □ 相手と自分の共通点を見つけることができる

6. 協働力
他人と協力して最適解を見つけることができる
- □ 意見の違いを受け入れることができる
- □ 相手の立場になって話を聞くことができる

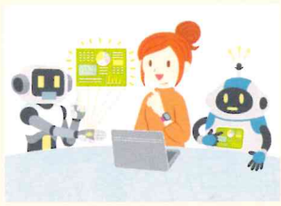
7. 社会性
良好な人間関係を構築し社会で役立つ一員となる
- □ ルールを守る
- □ 人との関係性を重視し、人のためになることをする

8. 主体性
自分で考え進んで行動することができる
- □ 目的意識、責任感がある
- □ やりたいことがある

9. やり抜く力
自分で目標を決めて達成するまでがんばれる
- □ 現状に満足せずに挑戦することができる
- □ 失敗してもあきらめずに粘り強く続けることができる

10. 回復力
困難な状況でも心を回復し適応することができる
- □ 物事を大局的に見ることができる
- □ 失敗してもポジティブにとらえることができる

2045年 シンギュラリティ



現在、私たちはIT技術の発達により便利で快適な生活を送ることができていますが、2045年には、AI（人工知能）がさらに発達し、人間の知能を超えるシンギュラリティが到来すると言われています。
グローバル化、多様化、AI（人工知能）化が進む時代、そして、先のことが予測できない時代において子どもたちが未来で求められる力とはなんでしょうか？ それは、人間だからこそできること、つまり正解のない問題に向き合う力です。その力を伸ばすためには「認知能力」と「非認知能力」の２つの力が欠かせないものとなっています。

※ シンギュラリティ…AI（人工知能）が人間の知能を超える転換点。技術的特異点とも呼ばれ、これにより人間の生活に大きな変化が起こると言われている。

字は読めるけど
それだけで
いいかしら？

勉強の好きな子に
育てるには
どうしたらいいの？

Point2 子どもの成長に合った学びが必要

学研幼児教室プレイルームは、カリキュラムが違います。





学研幼児教室プレイルームで経験すること

もじ・ことば　かず　ちえ

設立

1972年にスタートした幼児専門の知育教室です。

ねらい

「もじ・ことば」「かず」「ちえ」の3分野を柱に、子どもたちの能力を引き出します。
これからの学びの基礎を作り、「勉強が好き」という気持ちや、学習習慣を育みます。
スムーズに小学校生活に移行できること＝“就学準備”を重視しています。

もじ・ことば

全ての教科の基礎となる国語力を身につけます。

文字を読める、書けるということも大切ですが、聞いたり読んだりして言葉や文を理解したり、言葉を使ってきちんと表現できるということは、もっと大切なことです。
当教室では、学習した文字を使って言葉を作り、語いを増やし、文章読解や作文にも挑戦します。
語いが増えることは思考の幅が広がり、考えもより深くなることにつながります。
指導員やお友だちと、たくさんの言葉をやり取りしながら経験していきます。

濁音（゛のつく文字）、半濁音（゜のつく文字）の言葉をたくさん集めます。



わかった！



文ができた！



豊かな表現力のもととなる語い力を養います。



修了の頃には、論理立てた作文（○○になりたい。それは○○だから）にも挑戦します。

かず

ご家庭では教えにくい分野を、系統立てて小学校での学習内容につなぐ。

抽象的で、ご家庭で教えにくい分野でもある数の概念（イメージ）は、算数の力の基礎となります。
一般的にその難しさはご家庭では意識されにくく、たし算、ひき算などになって差が出てきて慌てる……というケースが多いのではないでしょうか。
学研幼児教室プレイルームでは、階段をふみ外さないよう、ステップをふんで進めていきます。
さまざまな教材を使い、楽しみながらしっかりと取り組んでいただけます。

4＋3はできても、「7は4と□」がわからないことは、意外とあるものです。

7は4と3です





具体物や数図を何度も数えたり、数の多少を比較したりしながら、数のイメージをつかみ、数字と対応させていきます。

どっちが多い？





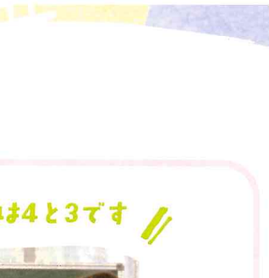


ちえ

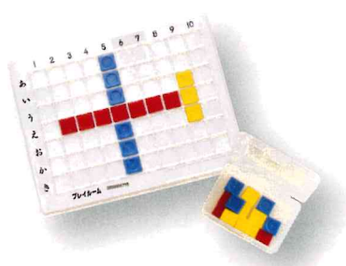
目に見える力（認知能力）だけでなく、目に見えない力（非認知能力）も。

文字を読める、書ける、たし算、ひき算ができる……それだけが学力ではありません。
見えにくいかもしれませんが、思考力・観察力・判断力・聞く力・話す力・興味をもつ力、コミュニケーション力、意欲をもつ力・がまん強く取り組む力・集中力などは学力としてだけでなく、これからの社会で求められている力でもあります。当教室は、時期に合ったカリキュラムを提供することはもちろん、上記の力をもつ子を「本物の学力をもつ子」と考え、お子さまの「全般的な知能育成」も目標としています。





時計も読めるようになったよ



ドキドキするけどがんばるよ！

気づいたことをみんなの前で発表することも。しっかりと自分の意見を言えるように。



※開室時期によって使用教材、課題の内容は異なります。　※教材の色・デザインは変わることがあります。

考えるカって
どうやったら
身につくの？

どうすれば
積極的になるの？

Point3 意欲的に取り組める楽しい教材が必要

学研幼児教室プレイルームは、教材が違います。





高度な課題にも楽しく取り組める

同じことに取り組むのでも、楽しく意欲的に取り組むのと、いやいやながら取り組むのでは、吸収の度合いは全く異なります。だからこそ、お子さまが思わず触れたくなる教材を豊富に用意しました。



「はじめの一歩をふみ出す」勇気をもてる

まずはやってみること……。
幼児期には、その一歩をふみ出す勇気を身につけてほしい。子どもたちがやってみたくなるように、また知的好奇心や達成感を満足できるように、操作性と応答性の豊かな教材で子どもたちの意欲を引き上げます。



たくさん試して「考える力」を養う

たくさん間違えて、たくさん試行錯誤して、一見難しそうな課題も、楽しい教材を動かしながら考えていけば正解にたどり着ける……。
その経験がお子さまを「まずは挑戦し、粘り強く考える子」に育てます。
また、同じ経験でも形を変えることで、お子さまを飽きさせません。知らず知らずに「考える力」がついてきます。



ペーパーワーク・おけいこも楽しい教材として

ペーパーワーク・おけいこは、紙の教材。決してテストではありません。さまざまな操作教材を使って挑戦してきた内容とつながっています。紙の教材にも取り組むことで、理解がさらに深まります。



※開室時期によって使用教材、課題の内容は異なります。　※教材の色・デザインは変わることがあります。

今がそのとき！

あそびがまなび

学研幼児教室

コース紹介

この時期ならではの
子どもたちの意欲に応える
「豊かな体験」を！



2歳児 自立の時期

お友だちと一緒に就園準備

未就園児クラス

プレイルーム ぴよちゃん





©Satoshi Iryama／Gakken

自分でやろうとする
めざましい言葉の獲得
身体運動が活発になる

- 言葉の数を増やします。
- 手や指を上手に使います。
- 親子分離のお手伝いをします。
- 自立し、園生活に適応できるようになります。

3歳児 飛躍の時期

もじ・ことば、かず、ちえ基礎を育てる

年少クラス

プレイルーム



知的好奇心が強い
「友だち」を意識する
ますます言葉が豊かに

- もじ、かずの基礎の力を身につけます。
- 生活習慣の話題に触れ、ちえ（知能）の力を刺激します。
- しっかりと聞く力を身につけます。
- 意欲をもって取り組みます。

4歳児 興味の時期

もじ・ことば、かず、ちえ楽しく学習

年中クラス

プレイルーム



周囲に強い関心をもつ
がまんする心が育つ
文字や数に興味をもつ

- ひらがな読み、言葉読み、正しい書き順で書く経験をします。
- 1～10の数字の読み書きと数の大小比較も身につけます。
- ちえ（知能）の課題を通じて、考える力を養います。

5歳児 確立の時期

安心の入学準備

年長クラス

プレイルーム



幼児期の多様な能力が確立する
集団行動がとれる
数の理解が進む

- 言葉書きや短い文を作ったり、文章読解の経験をしたりします。
- 数の合成・分解やたし算・ひき算、文章題を経験します。
- 図形を合成したり、隠れた積み木の数を推理したりします。

小学生 発展の時期

一人一人の個性に合わせた指導で学力を伸ばす

小学生

スタディ算国コース



意欲的な姿勢が育っていく
集団行動が上手になる
算数・国語の基礎力を身につける

- 計算だけでなく図形問題や文章題にも取り組み、論理的な思考力を養います。
- 漢字・言葉のきまり・読解・作文（表現）に取り組み、「論理的な読解力・表現力」を育みます。
- 「思考力・ことばの授業」で対話的な解決力が身につきます。